[illegible]……の形勢愈……一部に……化觀先と更角質に偏倚し易き處あり寧ろ廿日が無難となれば……が安全だとの說が有力である

京城日報 夕刊

發行兼編輯人 宮部[illegible] 印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 京城日報社

京城南大門通三丁目 石川時計店 電話本局七七二番 振替京城七〇一〇番

本社主催 第二回全鮮野球選手權大會 第一日

空は晴れたり—大會日和 劈頭戰の狼煙は揚る

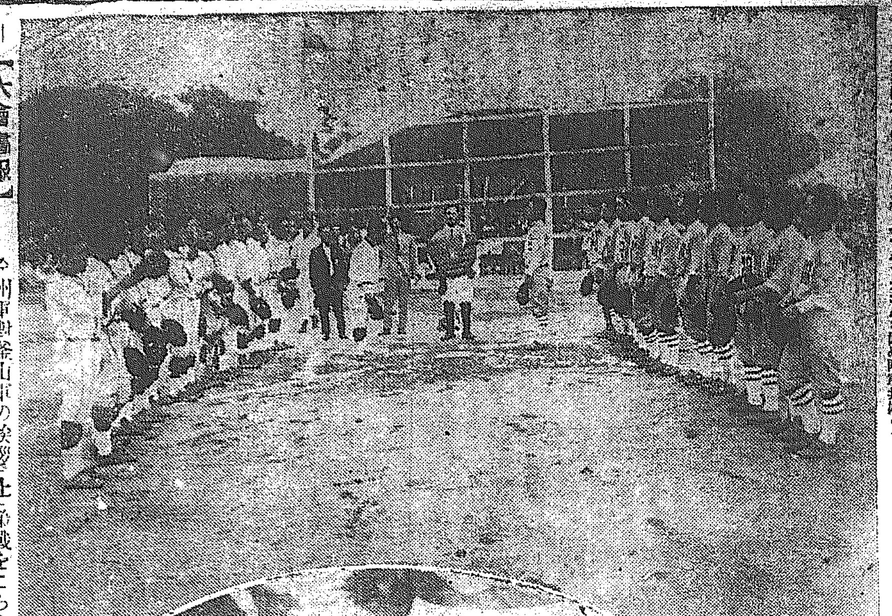
湖南の雄全州對慶南の剛釜山 始球式に續いて愈よ試合開始

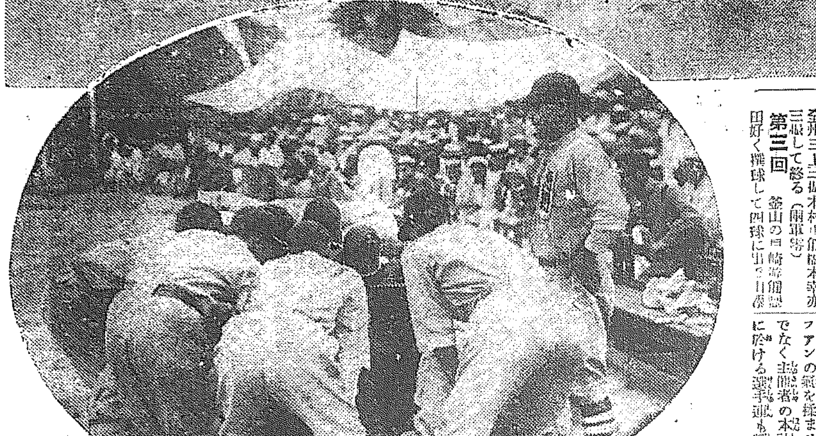
半島野球界に於ける最大の行事である本社主催の全鮮野球選手權大會第一日の二十九日は選手の入場式を終つた頃から降り出した雨に祟られて中止となりましたが、これがために却て醸された興味に絶大の期待をもたれた卅日は小憎らしい雨の曇脚も待ちもうけていよ〳〵大會開始の段取となりました。折柄颯爽の空模樣も何のその、半鮮に暗影の雲の往來を尻目にかけてすべての準備を終つた午後一時、痛快な煙花の爆發を合圖に始球式。つゞいて第一日のプログラム通り湖南代表全州軍對慶南代表釜山軍の戰鬪を開始小氣味の好い戰ひの幕はすさまじく切つて落されました。外野を十重廿重に埋めた觀衆諸君はこれ又一人のこらず熱狂選手への意氣ごみに、雨が降つたら濡れるばかりだといふ熱狂的野球ファンばかり。かくて戰ふ者と觀る者との猛烈な意氣はしつくりと結びついて内野に輝くラインの上に躍んな火花を散らす選手の接戰振に應援の大歡聲はとよう〳〵と雨雲をも吹き飛ばして了つた勢ひです。選手と觀衆の上に幸あれ……。

全州軍四點 釜山零敗す

釜山軍先攻で試合開始 兩軍猛烈に接戰す

十二時二十分兩軍の嗚き渡る拍手を浴びて濱口審判に率ひられて鈴木、西坂兩審判入場。兩軍のベンチに導り直ちにフリーバッティングに移つたが全州軍は鈴木をプレートに立てるらしく、捕手橋本とのキャッチボールは鮮かに打擊では宮本、鈴木、橋本、今村等の猛者連が光つてゐた。そのうち十二時四十分となり全州の白に對して釜山軍は鼠のユニーホーム姿で入場全州軍と陣を列べてバッテングを始め兩軍共好く打ち好く守り。湖南と慶南を代表する兩軍の試合の興味は既に此の時から囁かれて津々たるものがある。一時釜山先づシートノックに移り各プレーヤーの張肩は觀衆の好評を博し鮮かに終了して退き代つて全州シートに着けばこれ亦元氣一杯の腕を見せて觀衆を唸らせ一時十五分愈々釜山先攻と定り石原球審のプレーの聲に本社宮部副社長の始球式鮮かに捕手に達し一時二十分戰ひの火蓋は切つて落された。





【大會畫報】 全州軍對釜山軍の挨拶（上）と熱戰をこらす全州軍（下）

試合經過

第一回 釜山軍岡田先づ無爲に投仙し山際遊仙松永亦三仙に退き全州軍橋本則遊仙宮本二三後遊誠安打に出で橋本幸代走橋本頭の投仙に封殺され鈴木三仙邪投に生き命錦の左翼右を抜く大飛球二壘打となつて二者生還先二點を占め今村三振釜山零全州二

第二回 釜山（全州大いに守りを堅めて敵をリードす）三好右飛難球と見えしが今村好く摑み大井鈴木の球に全く弄殺されて三振北原遊左を抜く安打に出で木村亦中左間に安打して出でしも後續なく兩アウト見えし捕前打に則ざれて好機を逸す▲全州三上三振木村川飽橋本幸亦三振して終る（兩軍零）

第三回 釜山の川崎遊仙隠田好く撰球して四球に出で[illegible]

一右を抜く絶好の直球を放つて出で一死二走者あり松永衆望を負ふて立ち遊擊を強襲する好打を放つたが宮本グルリと體を轉じシングルで摑み併殺し難關を切り抜けたファインプレーに滿場湧き返る。▲全州橋本龜二三の後遊三間安打し鈴木の遊仙に封殺（兩軍零）

第五回 兩軍零
第六回 全州二 釜山零
第七回 兩軍零
第八回 兩軍零
第九回 兩軍零

始球式 宮部本社副社長の手で

第一日の始球式は下岡政務總監の手によつて行はるゝ豫定であつたが、雨のため一日順延し、時間の都合上遺憾ながら總監の臨席を得ることが出來ず、晴の始球式は宮部本社副社長によつて行はれた。

親爺うまいぞ

始球式に第一野次中央館の活動寫眞撮影隊が全州軍を撮影するとイヤにすましこんで是亦觀衆の喜びを買つた一時廿分宮部本社副社長の始球式がある、トテも立派な投げ振りだ『親爺うまいぞ』と彌次が飛ぶ

若い女のファンが 場内に目立つ

子供の野球狂

▲スコアボードの臺に顏よく〳〵から小猿のやうにおとなしく腰かけて待つてゐるのは西大門小學校の平ちやん康ちやん、東ちやん、鉄ちやんの四人で、花ちやんと康ちやんは二つ違ひの兄弟だ▲昨日も朝早く家を飛び出しちやんとスコアボード係に納まりかへつてゐたが、雨に降られたのでがつかりしながら夜の目も眠らずに今日の來るのを待つてゐたのだ▲小父さんまだやらないのかいと催促に來る、熱心なことは大人以上だこの四人は野球日が來るときまつたやうにちやんとボールド係の役目を承はる熱心な少年ファンである▲全州から態々子供を負つて來たといふ婦人の外に今日は乳飲み子を抱いた夫婦連れを幾組も見受た、若い女の見物も目立つてゐた。

宮部副社長の始球式

お斷はり

一昨夜に亘る大豪雨のため、最善を盡したグラウンドの設備、スタンド等に非常に遺憾な點が出來たのはファン諸君に申譯がありませんが事情を諒として御諒恕を願ひます。

「大會開始」の合圖に 萬歳の聲があがる

問合せの電話攻に社員へとへと ファン大よろこび

牌肉の嘆

に暮れ殊に湖南その他の代表チームの連中は天を仰いで『お天氣の野郎』を呼ばはり盛に怨嗟の聲を洩らしてゐた午前七時頃風は強いが雨あしが稍小降りになると熱心な市中のファンは本社へ電話で引きり無しに試合の有無を問合はせ社員は汗だく〳〵になつて之が應答に奔走し、午前十一時までの問合せが實に六百八十何件、なほ續々問合はせの電話に社員も へト〳〵 になつてゐた。一方會場の京中正門前には[illegible]

布を背後

に巻きつけた二臺の自動車を運轉して市中にその旨メガホンで宣傳を行つた。『大會開始』の報を聞くと到るところファンが『京城日報萬歳』を叫ぶ聲にしても景氣の好い話だ、殊に雨に阻まれたファンの熱意は『天候快復、大會開始』の叫びに堰を決した洪水の如く熾烈に燃え

亥角水利組合長

全州が入るとニコ〳〵

全州軍の應援席には亥角前知事が諸隣の洋服姿で控へ全州が二點を先取するとニコ〳〵して御座る二時には觀衆が右翼の後方にも一杯になり始めた本社係員席の後まで詰めかけたは知らせる半鐘までは邪魔だと苦情が出始めた程だ

をあげたファンが雨裝束で來るわ〳〵午前十時頃には黒山の人だかり、社員も何しろ天氣相手のことなので、未だやみ切らぬ雨を見ては確答も出來ず、ほと〳〵困惑の有様であつた。併しこれだけ白熱した野球ファンのために、殊に日曜ではあり是非一戰も早く開始したく本社では特に仁川の觀測所に電話で問合せたところ「低氣壓は既に

朝鮮中央

部を通過し去つた、天候は晴られるだらう」との返答であつたで之に勢ひを得た

盛澤山の試合前の餘興 午前中に七千餘人

未だ雨が降つたり止んだりと云ふのに既に數千のファンは京中グラウンドへと押し込んだ人數で既に[illegible]もあり、遂に十一時頃迄に二萬三千であり、一方係員は雨と風とに[illegible]の上に[illegible]されたグラウンドや其の設備の[illegible]やがてダイヤモンドに静かな日も[illegible]

關稅會議 特別委員

閣議で決定す

【北京廿九日發電】廿八日閣議で沈瑞麟、顏惠慶、蔡廷幹、梁志詒、王寵惠、李思浩、黃郛、葉恭綽、曹汝霖、梁鴻志、許世英等十一名の關稅會議委員を決定した右は卅日正式に發表される筈

田中大使 暗殺陰謀

事件の内容

【北京廿九日發電】田中大使暗殺未遂事件は相當にロスターの發表左の如し
七月十九日田中大使暗殺陰謀事件發覺し六名の支那人逮捕され支那外交官三名も連累者たると判明したが外交官は逮捕されず六名の支那人學生は支那政府の要求により特に支那の裁判所で審理の爲め支那に引渡すことに內定した

袁良氏訪日

【北京十九日發電】水力總裁袁良氏は特別關稅會議に際し國民外交部による爲日本の輿論を喚起する爲日本を訪問することゝなつた

けふは二試合

明卅一日三勝負決行 試合順序の變更

夜來の豪雨は尚歇まず今日もまた大會は順延の止むなきに至るかと危まれた。午前十時本社には各チームの代表者が參集し、牌肉の嘆きをもらしながら空を仰いで居たが、次第に雨は緩慢となつたので、試合を開始することを申合せた。けれども午後の開始では到底三試合を完了することは不可能なので、釜山對全州、鏡熙對大邱の二試合を行ふことに決したそのために自然豫定のプログラムを變更し明三十一日の試合は午前から全龍中對三菱の試合を行ひ次いで咸興對釜山全州の勝者最後に全龍中三菱の勝者と鏡熙大邱の勝者の試合を行ふことになつた。このプログラム變更によつて、三菱と龍中の何れかは二日目に二回の試合を餘儀なくされたが兩軍は一に大會のために犠牲的精神を發揮して兩試合決行し、ベストを盡くして戰ふ旨を宣し痛く係員を感激させた茲に於いて各軍代表は勇氣百倍、大隊の惡戰も何かはと勇躍して試合の準備につき、一方ファンは明朝來盛んに試合開始を

明卅一日の試合順序

午前十時（C組）中央代表 全龍中＝西鮮代表 三菱倶樂部
午後一時 北鮮代表 咸興體協＝A組勝者（釜山又は全州）
午後四時 B組勝者（鏡熙又は大邱）＝C組勝者（全龍中又は三菱）

合同話を前に 落ち目の政友會

解黨して誠意を見せても 本黨がすぐうんといふか 四人組もたぢ〳〵

【東京電報】大木、俗野等四人組の政本合同運動は最近復又田中總裁の歸京を機會に行はれ出したが既に政友協調内閣當時に於てはりに本黨に向ひ本黨より進んで合同せんことを勸誘したのであるが其後[illegible]を目的とする政友會の策動により急激的な政本提携は成立[illegible]れしたが竟に自黨に妨げられて[illegible]夫以上

急進す るに至らなかつた。最近に至り本黨側の結束意外に強く到底本黨側より進んで政友會に合同する如き事は不可能なるを察知し四人組も其方針を變じ先づ[illegible]し本黨に誠心誠意を披瀝し解黨の合同を完成するにありとし總裁以下を說得する事とし目下評定中であると本黨側に傳へられてゐるが既に憲政會の協調破棄により國民の信を失ひ黨内部には

反幹部 熱起るに至り總裁の價値如何をも疑はるゝに至つて政友會内にも更正を叫び新黨樹立により大政友會の實質をそなへる大政黨を組織せしめんとの際か起りつゝあるが併し之も政友會全部の一致を見るまでには相當の時日を要するに至るであらうが兎に角政友會がかく誠意を披瀝して合同を申入れた場合本黨として之を受け入るゝや否やは目下疑問で本黨としても必ずしも拒絕はすまい憲政會の日に臨監に甦るに從ひ大勢は合同に傾きつゝあるを以て或は案外容易に黨の態度を決し五十一議會に合同實現すべしと

急進派 は見てゐる。一方幹部派は兩派が始一戰の新黨を作るも何等かの國家的大事を目標とせねば其意義を缺くを以て彼の過程を執り政友會から合同を申し入るゝとしても本黨は躊躇するであらうと言つてゐる

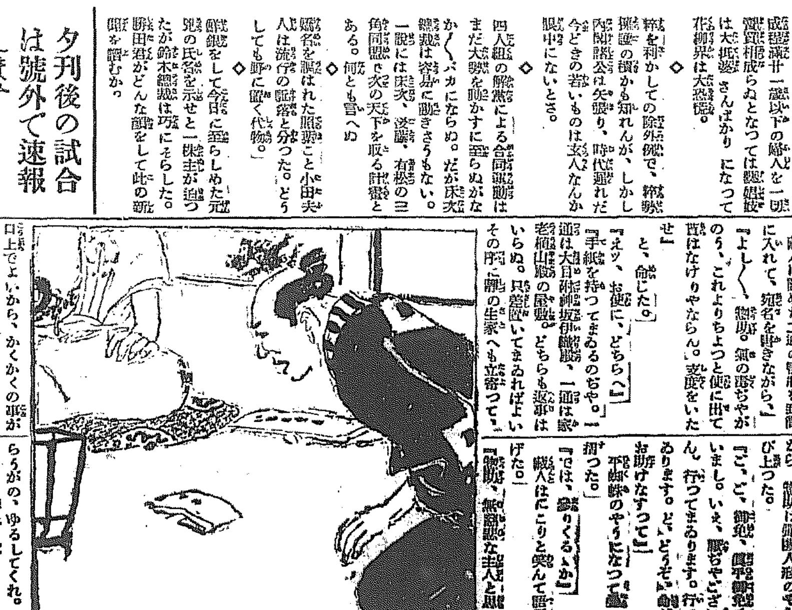
夕刊後の試合は號外で速報します

對山錄

要望し 來り、大會は概ね諸らしく充實した戰爭黨の選に開かれることになつた。
◇
婦人及兒童の賣買禁止條約に對する政府の留保は、幾多の感激のために日本文明の汚點をサラケ出たものだと樞府の老人連が矢鱈しいが、一體何でそんなヤヤコシイ問題なのか。
◇
同條約を植民地に適用しない殖民地國と今一つは婦女賣買禁止婦人の年齡を滿廿一歳から十八歳に引下げた除外例が悪いといふのだが、成程滿廿一歳以下の婦人を一所に賣買相成らぬとなつては遊廓彼花柳界は大恐慌。
◇
は大抵婆さんばかり になつて幹を利かしての除外例で、粹狀擁護の積りかも知れんが、しかし内閣諸公は矢張り、時代遲れだ今どきの若いものは玄人なんか眼中にないとさ。
◇
四人組の解黨による合同運動はまだ大勢を動かすに至らぬがなかなかバカにならぬ。だが床次總裁は容易に動きさうもない。一說には床次、淺野、有松の三角同盟も次の天下を取る計畫とある。何とも言へぬ
◇
政黨名を謳はれた頭數では小田夫人は流行の派落と分つた。どうしても野に置く代物。
◇
計劃をして今日に至らしめた元兇の氏名を示せと一株主が迫つたが鈴木總裁は巧にそらした。勝田君がどんな顏をして此の新聞を讀むか。

七曜の劍 （二十一）

渡邊默禪作 須藤宗方畫



やがて、彼は離室に入つて、しづかに手紙を書きはじめた。『旦那さま。』程なく與助が離室へやつて來て『お呼びとほりにドン〳〵火を燃やしましたし、水もどつさり汲んで置きました。直におつ召加減になりませうよ』と、いふ職人は認めた二通の書狀を封筒に入れて、宛名を書きながら、『よし〳〵、御苦勞。氣の毒ぢやが、のう、これよりちよつと使に出て貰はなけりやならん。支度をいたせ』と、命じた。『へッ、お使に、どちらへ』『手紙を持つてまゐるのぢや。一通は大目附神坂伊賀守殿、一通は家老植山殿の屋敷。どちらも返事はいらぬ。只差置いてまゐればよい。その序に觀の生家へも立寄つて口上でよいから、かくかくの事があつたと知らせてくりやれ』『へ、そいつア困りましたな。一體、今夜は何時だと思つてゐらつしやいます。もう彼是九つ半、古い文句だが、草木も眠る丑滿時でございますぜ。そりや、いつもなら宜しうございますがな、こんな物騷な野ッ氣味の悪い眞夜中に……そいつア、少し……濟みませんが、旦那、其お使は、どうぞ明朝の事になすつてお臭れんなさいまし』『迷惑ぢやと申すのか。厭やならば強てとも言はれまい。それでは身共自身で參ることにいたさう。きさまは一人居殘つて、夜明けまで死體の番をいたせ』『と、と、飛んでもない。死人の番をさせられて堪まるもんですか』『然らば、使に罷越すか』『いや、そいつはどうも』ひたと困惑して、ぼり〳〵と頭を掻く。『きさま、主命を拒むのかッ』忽ち嚇と目を怒らして、鋭い聲を浴びせかけた。『え、さういふ譯では……』『默れッ、於備ない大切の急用なればこそ申附けるのぢや。それを拒み立てるとは言語道斷な奴。おのれ、その儀には』と、ついと突立上つた。『刀に血を塗つた爲ぢや。此の新助共への見せしめ、不忠者の雁首二つにいたしてくれう。さそれと直れ』劍の鍔をトンと突かせた無の下から、新助は觸儡人形のやうに飛び上つた。『ご、ど、御免、御平御免くださいまし。いえ、厭やでございません。行つてまゐります。行つてまゐります。ど、どうぞ命だけはお助けなすつて』平蜘蛛のやうになつて疊へ額を擦つた。『では、參りくるゝか』職人はにこりと笑んで語氣を和げた。『勝、無謀な主人と思ふであらうがの、ゆるしてくれ。其代りにそら、酒代を遣はすぞ。』取出して紙を包んだ白紙、ポンと投げたのが五兩の小判、新助はぎくりと目を瞠つた。『へゝ〳〵。有難うございます。ぢや。早速出かけることに』『むゝ、今夜は柴田の屋敷に泊つてまゐるがよいぞ』『え、然うして戴かなけりや命が堪りません。それでなくつてさへ。今夜は肝ッ玉が上つたり下つたり、いとゞ背の低いチンチクリンが一尺ばかり身體が縮んで了ひました。一寸法師にならなけりやいゝがな』『こりや。はい、行つてまゐります』命は惜い金は欲しいの生殺威と物凄さとに揺られて、悄氣返つた彼が、大膽に使命を果さうといふ勇氣が出た。でも、勝手口から出てゆくのが恐ろしく、提灯に成るべく大きな蠟燭を點けて、逃げるやうに裏門から飛出して去つた。其跡で、職人は雪洞を手に、庭へ降り立つて納戸を開き、邸内の馬小屋に向つて徐々に廊下を踏んだ。

京城の電話も愈よ度數制

使用料を半額以下に下げ一通話毎二三錢徵收する

明年から實施の意嚮

交換局の收容餘力なき京城中央電話局では此の上通話度數が増加するに於ては局舍の擴張か左もなくば他に適當な方策を講ずるに非ざれば如何に能率だの通話制限だのと叫んで見た處で一向效果がありそうにもなく所詮は勞して効なしで

無駄話 は益々增加の一方である、此の滯澁に通話の不快感ともなれば電話本來の使命にも反するとの見解から此の緩和策に於ては數年來研究されて來たが結局は將來大京城の出現となれば必然的に考究さるべき理想的な施設に相違なく現在に於ても財政的に局舍の擴張並に自動式交換等の方法至難の事情さへ無くば當局者のみでなく一般にも常に欲求されてゐるが現今の財政狀態では到底此方面に對する餘力ある譯もないので

遞信局 では內地の主要都市で好績を收めつゝある通話度數制に改め明年度から實施する筈で機器購入費其他十五萬餘圓を要求するに至つたが愈々實施となれば現行使用料を半額以下に低減する代りには一通話毎に二錢乃至三錢位の通話料を徵收さる事になるからお主婦さん達も一寸電話でなどと

手輕に に行かぬし又交換嬢達も甘つたるい所謂何とかの囁きとやらも聞く機會が少くなつてサツパリする事であらう

令孃風の女乞食

大阪の浮浪者狩

【大阪電報】不景氣のどん詰りに失業者增加の一方で大阪中の島公園は之等の一大集合所となつてゐるが曾根崎署では廿九日午前一時から同所附近の浮浪者を取調べた所住所も職もないもの百二十三名、定まつた住所はないが時々働く者二百四十八名住所正業あるも放浪してゐるもの百九十名無職家出が四名で女が四名も混じり、然も十七八歲の一見令孃風の一人が混つてゐたと

さく夜の豪雨

龍山漢江通り六十餘戶浸水

麻浦街道決壞し電車線路埋沒

廿九日夜來の豪雨のため龍山漢江通り十一十三番地の下水溝溢出し同番地五十戶、龍山警察十三戶は床下一尺浸水し卅日午前七時に至り漸く減水した又麻浦町より麻浦に通ずる道路は長さ三十間幅二間に亘り決壞し電柱一本倒れ電線切斷した、孔德里より麻浦に通ずる電車線路百間埋沒し電車不通となつたが目下修理工事を急ぎつゝあり麻浦の畑は反步の農作物は出水のため流失した漢江の水位は卅日正午十四尺であるが上流增水のため十七八尺に達する見込である

鍾路方面浸水六百 床上七十戶

鍾路署管內に於ては下水排泄の不充分なる爲め此の出水で家屋浸水するのが例であるが廿九日夜來の豪雨で床下五百十三戶床上七十二戶の家屋が浸水した

が一時激しく仁川では埋立地方面に床下浸水八十四戶にて內里方面には被害はく築港附近に一時道路決壞し人の通行し得るのみで馬車通行杜絕した

低氣壓の戶迷ひ

京仁の大雨 南鮮は晴天

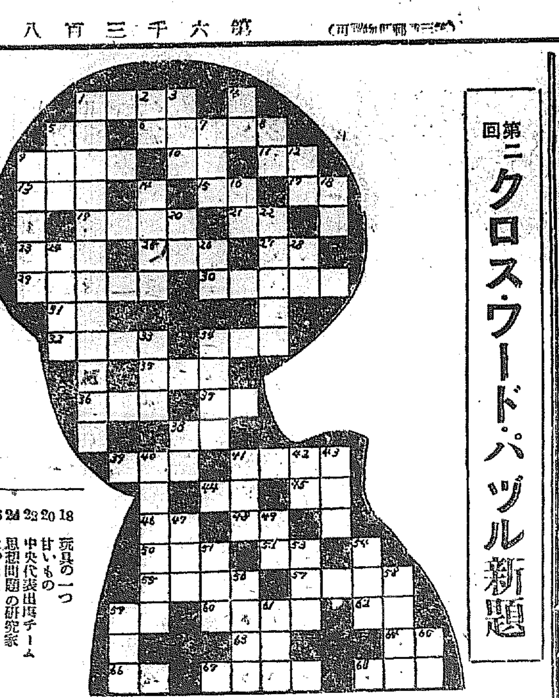
【仁川電話】廿九日來の暴風雨は琉球列島に在つた低氣壓が支那大陸方面に向ひつゝあつたもので急に北東に變じた爲め朝鮮中部を通過したのに因るもので廿九日午後五時頃が最も烈しく風速十二米突雨量は京仁山一八八ミリ仁川一七六京城一三三平壤六〇木浦五四で南部には全然雨なく京仁方面

人柱の女か

三百年前の白骨 舞鶴要港部から現る

【舞鶴電報】二十九日午前十一時舞鶴要港部司令部構內に目下建築中の無線電信發信所の工事場から人骨の白骨が現れた、要港部醫院長折原大佐の鑑定によると三百年前の婦人の骨らしく頭蓋骨、肋骨、四肢等完全に備へなり或は人柱でないかと言はれてゐる

第二回クロス・ワード・パヅル新題



タテノカギ

1 本社主催の野球大會
2 眠い目を結ぶ落葉間
3 耳の長い動物
4 三太夫
5 第一回全鮮野球選手權保持

16 14 12 9 8 7
音
西洋の鳥
流れるもの
未亡人の仕事
烏賊
響き
草の一部分

43 42 41 40 38 36 34 33 28 26 24 22 20 18
玩具の一つ
甘いもの
中央代表出場チーム
思想問題の研究家
水のほとり
元金につくもの
ものの道理を辨へる心
北鮮代表チーム
おたから
罰を爭ふもの
衣服の袋
屋根の一部分
嶺南代表チーム

54 53 51 49 47
遊び
水が流れる所
齒醫者
お師匠樣
小さい犬

65 61 59 58 56
快活の反對
關北代表チーム
年增の鮮婦人
完全無缺
年齡

ヨコノカギ

1 湖南代表チーム
5 警官の腰に
6 電報の慣用文句
9 盃を洗ふもの
10 白銀
11 骨のまんなか
13 鷄やあひる
15 秋咲く花の王
17 農具
19 野望家
21 穴を開ける道具
23 こゝろ
25 風景
27 水氣の多い野菜
29 ユートピヤ
30 新しい智識
31 僞り
32 鳥なき里で大いばり
34 渡り鳥の一種
35 世の中
36 鍼
37 元氣の好い川魚
38 鼻の長い動物
39 手助け
41 武夫
44 腰掛
45 賑味
46 梅干と一所につけるもの
48 四位〇〇の際
50 勇しい人
52 食事道具
55 戒め守ること
57 腹痛
59 忘れてはならぬもの
60 判
62 東邦
63 人の一生に就てまはるもの
64 歸り途
66 浮土のある方角
67 西鮮代表チーム
68 孔子に次ぐ聖人

解答は

一、本紙を切拔き解答を書き込み欄に住所氏名を貼りつけ、開き封(切手二錢貼用)で本社クロスワード係宛御送り下さい
一、締切は九月五日、發表は次の新題と共に九月八日の夕刊紙上
一、正解者多數の時は抽籤で廿名へ記念の賞品を差上ます

訪日の露機けさ北京發

一路奉天へ飛ぶ

【北京本社特電】天候の關係や機體故障のため出發を延期してゐた日本訪問の勞農機二機は三十日午前五時北京を出發奉天に向つた(二十九日發)

【北京本社特電】訪日飛行機は三十日午前五時四十五分北京郊外南苑飛行場を出發奉天に向つた(三十日發)

震災追悼會

府內若草町曹溪宗別院では九月一日の大震災三周年當日午後八時より震死者追悼大施餓鬼を修行する

京元線また不通

假橋墜落す

京元線金谷東豆川間は二十九日夜の豪雨の爲め東豆川の假橋がまたも墜落し三十日朝より列車不通となつた

劍花坊氏を迎へて(本社貴賓室にて)中央井上劍花坊氏、その右大谷六花村氏、左端丸山本社主筆、その他市內各川柳社の幹部連

劍花坊氏歡迎川柳大會

本社來靑閣で開催

井上劍花坊氏は大谷六花村氏同伴三十日午前六時四十五分驚く大雨をおかして京城驛着下車、半島川柳社、朝鮮川柳會その他市內各川柳團體の同人多數に迎へられて入城、一先づ龍山旅兵町の六花村一夫氏方に入り少憩後、正午我社主催の歡迎川柳大會に列席した

大會は定刻前より押かくる熱心なる、同好者多く、仁川其他各地より、遙々出席するものもあり、正午過ぐる三十分には百近い多數の參席者を見るに至り、尚續々受付口にせまるの盛況

課題は重い足(鯨頭子、弓八選)、題(鯨宗門、紅旗選)、落つかぬ心(大谷六花村選)、大川(井上劍花坊選)と貼出された一寸唯ならない靜かさのうちに句作に入つた。作句は午後二時締切つて午後四時披講さるゝ筈である。當日名譽ある高點は果して誰の頭上に落つるであらうか。興味は盡きない。因に劍花坊氏は九月二日京城發

歸途 につき四日下關における川柳大會に列し六日松江の大會に出席する豫定

滿洲から京城へ

井上劍花坊

多島海
松島にもつと多い多島海
黃海
北辰に蠶あり船を引く如く
大連雜詩
大連へまず〳〵のびる川柳
一時間遲く大連明日に成り
遼陽白塔
白塔をオモチヤと見る高い空
奉天北陵
三百年昔の張作霖の墓だ
旅順
抑々の靈はこゝに此處を取られ
釣魚臺
釣魚臺先づ普濟寺を能始め
鴨綠江
だん〳〵に支那と別るゝ長い橋
京城
再會に南大門の背筋

盜むのは泥棒 盜まるは鼈棒

全道の盜難五萬件 火事の被害五百七十萬圓

總督府の統計に依ると保安課所屬の取扱に係るもので昨年中盜難が四萬七千七百二十六件、火災は四千五百六十七件で五百七十萬五千三百十九圓の損害、交通方面では汽車、電車、飛行機、自動車牛馬車等の事故が五萬七千八百一件に達した即ち全鮮警察官は之等の事件を毎日取扱つてゐる譯となるのであるが今度警務局は一般民衆に之が豫防宣傳を如何にして徹底させ得るかを知るために各道警察にポスター等の懸賞募集をした、集まつた數は可成りに達したが、何れも大同小異で大した珍奇なもの名案もないがその內代表的なものを交通、衛生、盜難、火災に分つて選擇し各道に周知せしめた

一、交通 皆さん交通道德を守りませう 外二十四
一、衛生 醫さは冷える流行病外二十
一、火災 火事に待つたなし外十
一、勸儉貯蓄 金になる腕を枕にする外二十二
一、盜難 盜むは泥棒、盜まるは鼈棒外六
一、雜 警察の要らぬ村を造りませう外三

少女誘拐

電車で捕はる

二十九日午後十時頃義州通り隧道所で降りしきる雨の中で泣き叫ぶ少女を無理無體に電車に連れ込まんとする男あるを西大門署刑事が不審に思ひ本署に同行取調べた處右は住所不定金錫成及び府內仁寺洞一三七朴永祚の長女朴順得(一二)とて金は順得の美貌に目をつけ六十圓で妓生に世話するからとて順得の父に强ひいやがるのを無理に連行せんとし居たる事が判明したが金は更に安東縣に於る常習者李正賢に朴の印鑑を僞造し契約書を作製して二百五十圓で賣渡しる事が判明し引續き拘留取調べを受けてゐるが安東縣上流方面に數名の共犯ある模樣で嚴重取調べ中

人妻に秋波を

送つて二人斬らる 被害者は瀕死の重傷

廿九日夜九時四十分頃府內吉野町一ノ九五號鐵道局雇員李光熙(三〇)方で同人及隣家の氷屋崔貴祿(三〇)の兩人が先鋒方の使用人李春根(三〇)に銳利な庖丁用ナイフを以て斬りつけられ何れも瀕死の重傷を負ふた事件が出來たので所轄本町署では鍾路署に急報し協力嚴探中の處犯人は間もなく逮捕されたが李光熙は三ヶ月を要する重傷である、加害者の妻に李光熙が色眼を使つたといふのが喧嘩の發端らしく氷屋崔貴祿は仲裁に飛込んで側杖を喰つたものである

泥棒を半殺し

引捕へて袋叩きした 近所の人達引致さる

卅日午前三時頃府內南大門通り三ノ南大門市場內の一鮮人方に忍び込んだ一名の賊がナイフを以て主人のポケットを切り財布を盜まんとする際發見され大聲で泥棒と叫び立てた爲め駈けつけた十數人が其の賊を引捕へ半死半生の目にあはして警察に突出したが犯人が口もきけない位の重態に驚き本町署では捕へた四人の男を引致して目下取調べてゐる

大田 リンゴカステラ 名物 忠南大田 中田堂

養兎共進會

十月一日開催

朝鮮畜產協會では廿九日午後六時半から京城ホテルで總會を開き、賀田知事、馬野府尹、安藤商工課長、宮田俊作氏、矢鍋殖銀理事、二宮東拓支店長其他約十五名出席、本年度事業報告あり十月一日から協會の第一回養兎及び其加工生產品の共進會開催の旨を發表して午後八時半散會した

第一回當籤者氏名發表

應募總數千六百八十五枚、殆ど正解者を得ました、左の中から既定の受賞者廿名を抽籤の結果左の諸氏が當籤いたしました。早速賞品發送いたします。

京城社稷洞四六	佐藤曾羽
同初音町二〇〇	岩橋泰
同三阪通五	由倉彥三郎
同並木町一五一	河野通一
同社稷洞二六二	金顯福
同西大門町二ノ四六	山下澄子
同漢江通陸軍官舍	貫井よりの
同勸農洞一七一	尹命圭
同櫻井町二ノ二五	大野キサ
平壤八千代町五九	有馬隆
新義州彌生町鐵道官舍	宮川章
新義州敷島町二丁目	鈴木彰
咸鏡南道咸興大和町	寺本房子
忠南論山旭町	藤井靜子
同江景西町	松崎房次郎
群山府金川通	光富みどり
全南咸平邑內	吉田スミ
全北全州金融組合內	中野照代
江原道原州邑內	飯田マミ子
下關市西南部町	渡邊眞太郎

ケ	イ	ニ	チ	■	ザ	ツ	キ	テ	ウ	■	ヌ	ス	ビ	ト
イ	シ	■	シ	カ	ツ	■	ン	■	タ	シ	キ	■	ウ	ナ
ゼ	■	シ	ン	ギ	シ	ウ	■	マ	ハ	リ	ミ	チ	■	カ
ウ	ド	ン	■	■	■	デ	ツ	キ	■	■	■	イ	セ	イ
■	ウ	ブ	■	カ	イ	ダ	■	ノ	ゾ	キ	■	サ	ン	■
キ	リ	ン	■	イ	■	メ	イ	シ	■	ミ	■	イ	ゾ	ク
ウ	■	シ	マ	ナ	ガ	シ	■	マ	ツ	チ	バ	コ	■	リ
シ	ロ	■	ク	■	ク	■	■	■	シ	■	ツ	■	マ	ス
バ	■	パ	ラ	ダ	イ	ス	■	タ	マ	ノ	コ	シ	■	マ
イ	カ	イ	■	ン	■	ル	ピ	イ	■	ン	■	ヨ	ラ	ス
■	ツ	レ	■	ス	ズ	メ	■	シ	ン	キ	■	ウ	キ	■
フ	ミ	エ	■	■	■	イ	ク	ヨ	■	■	■	ト	ウ	メ
ロ	■	ト	ク	ボ	ウ	カ	■	ウ	マ	ノ	ア	シ	■	イ
シ	マ	■	サ	ン	ゴ	■	モ	■	ツ	キ	ミ	■	カ	シ
キ	リ	シ	マ	■	ク	ダ	ン	ザ	カ	■	ダ	イ	コ	ン

潛水艦引揚作業

二回目も成功

【東京電報】沈沒潛水艦の第二回目救護引揚げ作業は廿八日橫須賀港內にて特務艦朝日により實施され三十三號の海底に沈下せる二號潛水艦を約一時間にて無事浮上げを了し成功した

細君から離婚訴訟

新派劇の中田を相手どつて

【大阪電報】大阪市西成區玉出町九四六新派俳優中田マサエ(二七)は夫なる新派劇の重鎭中田正造事中田正三を相手取り離婚請求訴訟を廿九日大阪地方裁判所民事部に提起した理由は本年二月頃より正三が濱出正二郎妾及び新派女優ジュン子事野村トヨと通じマサエを虐待したと云ふのであるだ正三は澤田が新國劇を脫退の際に共に參じ其片腕となつたが其中意見の衝突より同劇三名と脫退し轉々としたあげく新國劇の向ふを張つて活躍してゐた新派劇に入つたものであつた、ジュン子は澤正と戀の三角關係より自ら別れ話を持出し時多來阪し大正旅館で新研究所を設け最近第一回舞踊作品發表をやつたがその間に中田はジュン子と接近し同棲しマサエを虐待するに至つたのでこの離婚訴訟を提起するに至つたのである

大僧正の追悼飛行

增上寺もめる

【東京電報】芝增上寺管主道重大僧正が九月一日に震災追悼飛行を行ふと發表したが事務所側は驚卒なりと臨時會の決議で中止せしめんとし予弟は決行すと雙方論爭中

醉拂ひ兵士

電車で暴る

廿九日午後九時頃朝鮮步兵隊一等卒金顯安は泥醉し朝鮮帽子を沒失し府內黃金町一丁目から龍山通り行き電車に乘つたが車掌から切符を催促されたのに憤慨し鐵拳を振上げて暴行するので鍾路署から巡查出張し押へんとしたが今度は巡查に喰てかゝり仕末に終へぬので更に二名の應援を得て漸く取押め本町署に連行し憲兵隊に引渡した

住職殺し

…年前の大正元年の秋頃住職爭ひから大同郡林原面松岩里廣法寺の住職の事にいんねんをつけて口論を惹ひ出し…十五年の刑を言渡され平壤刑務所に服役して昨年出獄したが首謀者…員の手で捕へられ目下同署で取調べて居る

…定次郎氏は二十八日午後九時頃要…女一人留守居中一名の鮮人が入り…を顧ず逃走した一方定次郎氏も…すと共に逃走した旨廿九日朝大田署に屆出があつたが强盜の所爲と…

仁川の赤痢

【仁川電話】仁川新花水里居住の…

漁船沈沒す

居たものであると…
…貨物共販…したか幸ひ附近に居た…漁船で人命は救助された、損害…

名刺 名刺は各地印刷所にあり 御名刺と御指定御使用乞ふ

牛乳豐富 ◎小兒や病人は東洋唯一の牛乳が最も適當です ◎御見舞は牛乳券一番好適 平山牧場 京城東小門外 電光一二三三 東京下谷二區長町五十二 總發売元 櫻井商店假營業所

大田電氣株式會社 取扱期間 大正十四年九月一日ヨリ同九月五日マデ 取扱場所 殖產銀行京城、大田、公州本支店 漢城銀行京城、大田、公州、本店 大田電氣株式會社 大田、公州、鳥致院本支店 明石市 明石銀行 神戶市 電氣銀行株式會社 五十六銀行 右取扱期間經過後ハ大田電氣株式會社本店ニテ支拂可申候也

支拂廣告 社債利子第七回支拂ノ儀左記ノ通リ取扱致候間利札引替ニ御受取被下度候

特異の效果を有する 胃腸藥 本舖 東京

株券引換廣告 來ル九月一日ヨリ當會社ニ於テ左記ノ通リ株券引換致シマス 記 舊會社株券ヲ新株券ト引換致シマス … 大正十四年八月三十日 奉天取引所株式會社

外務部長 招聘 地方在住 文學の素養ある人 出版物紹介 東京麴町 國風會々長 上泉德彌

金の成功實驗談 贈呈 小資本成功の祕訣を公開す ハガキで請求あれ 名古屋柳橋角 大形商店

來る卅一日は棚卸勘定に付臨時休業仕候 三越呉服店

公告

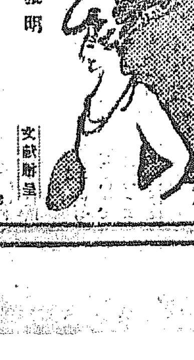
當銀行ハ大正十四年八月二十七日招集ノ株主總會ニ於テ資本金八千萬圓ヲ四千萬圓ニ減少ノ決議致候間右決議ニ對シ御異議アル債權者ハ大正十四年十一月十日迄ニ其旨當行東京支店(東京市麴町區永樂町二丁目一番地)ニ御申出相成度商法ノ規定ニ依リ此段公告候也

大正十四年八月二十九日

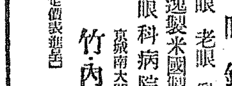
朝鮮銀行

會葬御禮 弟 新井俊次 親族總代 新井英男 友人總代 林新藏 小源六 山岸佑太郎 古城龜之助

新發毛劑 內服 ザクロ華 世界的發明 九大 旭博士創製 權威アル藥店ニアリ 文獻贈呈 小倉市日明 日明製藥所



眼鏡ト時計 近眼 老眼 亂視眼 確實製作 獨逸製米國製高級レンズ各種 各眼科病院處方眼鏡調製 (定價表進呈) 竹內時計眼鏡店 京城南大門通リ三丁目 振替京城一四一八五番 電話本局三七七二番



移轉披露賣出し 料理 ビール 一本ニ付 金二十五錢 シトロン 一本ニ付 金四十五錢 アイスクリーム 一皿 金二十五錢 冷洋紅茶 一盃 金十五錢 西洋料理 本町三丁目(元藤田跡) 中央亭本店 電話本局二一〇一番

文化夜具入 旅行の時御轉任の時非常火災の時上等夜具保存に是非無くてはならぬ最も便利な極めて安價な經濟的文化夜具入 三枚入 四枚入 五枚入 (外に三本締革付あり締革付きの分は各々一圓上り) (地方の御注文は代金引替にて送ります) 鞄製造販賣 高木鞄店 京城本町一丁目 電話本局三一四番

（第三種郵便物認可）

十五年ぶり 主犯捕はる

【平壤電話】平南龍岡郡龍川面白[illegible]は今から十五年前[illegible]とがみ合ひ自己が欲に眩へる身も忘れて同里の池殿鉉、洪殿彼と云ふ兩名の無賴漢を手なづけて同年十一月廿日成川郡成川面[illegible]始め掠旬の果には三人掛りで杯を擲殺して死體を山中に埋沒して逃跡を晦ましてゐたのを成川署に探知され池、洪の兩名は逮捕されて荷柄のみは巧に姿を晦まして逃げのびて居つたが最近德川郡德川面白殿に李炳郁と變名して住み込んで居る事が判明して廿八日大捕

のろま強盗 朝日二個で逃走

【大田電話】大田市外北山里[illegible]來り[illegible]脅迫して出金方を迫るのでタンスを指し、賊が金の在所を探す際に戸外に走り出で盜賊々々と連呼したので賊は一物も[illegible]に就たが更に午前三時頃表戸を叩き現金を迫る者あり金は一文もないと答へると煙草を出せと脅迫し朝日二個を戸の隙間より投げ出[illegible]である しては不穩の匪賊く大田署に於ては各所に手配中なるも胡散な強盗

金明植長男金命男[illegible]は二十九日朝赤痢と鄭明玉に燒死院に收容したが同日午後に[illegible]に死亡した因に患者は痘瘡を十日より發し

【仁川電話】永宗面雲北里金石根[illegible]の漁船は二十五日午前一時頃[illegible]附近海上で出漁中、暗闇に帆を上げ疾走中の帆船に衝突[illegible]乘組員[illegible]暗夜のため、何れへ逃げ失たか其跡を認め得なかつたので目下取調べ中

被害ある田は 水利事業普及の爲め 出來得る限り援助する

張間平北内務部長談

【新義州】平北道内務部長張間源四郎氏は過日の水害で大打撃を蒙つた管内の龍川郡仁川水利組合の被害状況を視察し其足で出府當局を訪問し復舊工事費の補助問題を力説中七日歸任したが左の如く語る「平北道當局が水田の有益を說き其結果生れた龍川郡の龍川水利組合と定州郡の同仁水利組合は創設未だ日淺きに過日の水害で手痛くやられたので之が復舊工事には是非共道當局として充分の援助をしたいと云ふ知事の意見に基いて余は兩水利組合の被害状況を視察した處が其被害は大體の處で同仁組合が水路決潰八十四ケ所堤防決潰百六十八ケ所龍川が水路決潰六十四ケ所もあり其他水路の破損或は被害件數大小を合して復舊に見積ると同仁が六萬三千餘圓龍川が二十二萬二千餘圓といふ損害額となる夫で余は之が復舊工事は一日も忽かせに出來ぬから其損失を彌補し政務總監始め各局長を歷訪し其必要を説き對策に就て出來るだけ多くの國庫補助を仰ぐべく奔走した次第である幸ひにも總督府は政務總監始め各局長は熱心に聽取し多大の同情を寄せ良く了解されたので頗る圓滿に進行する事と信じて居る何しろ木道の水田事業は鹽井寬太郎氏の大正水利組合に次いでの大水利組合であり然も近來一般民が水田の有益なるを自覺してこれを利用する樣になつて來た實に無いと云ふ現在であるから此の際水利事業普及政策上から見ても出來得るだけ援助して一日も早く復舊工事に着手せしめたく思つてゐる

水害復舊工事 速成を要望

【江界】平北江界では過般の大洪水の爲め各地に通ずる道路橋梁破壞流失し交通殆ど杜絶の狀態となつて居る爲め邑内物資缺乏し物價暴騰の勢を來し住民の困難名狀し難きものあるを以て廿七日居住民大會を開催し水害復舊工事の速成要望を居住民一同の名を以て總督府内務局長及平北知事に電請した

道路復舊請願

【新義州】平北江界邑内では二十七日市民大會を開き過般の水害で破壞した道路の至急復舊を促進すべく決議しその決議文を持ち田内務局長、谷平北道知事其他に打電請願した

群山築港期成會委員會

【群山】群山築港期成會にては二十九日午前十時會議所に於て常任委員會を開催築港速成運動資金醵集並に朝鮮港灣公債募集速成を期すべく全鮮商業會議所聯合會と歩調を共にし中央政府に向つて運動を試みる爲め東上委員を派することにつき協議したるが其結果群山は運動資金として一萬圓見當の金額を醵集することとし之が方法は一般府民の寄附に俟つべく九月一日より募集に着手することに決定した尚後者は運動資金募集の上委員を選定し東上せしむることゝしたが右東上委員には多分赤松繁夫氏選ばるることとなるべしと

間島總領事館 大部分出來

【間島】龍井總領事館が全力を傾注してゐる間島總領事館新築工事は既記の如く着々として其工程が進捗し今日に於ては中央五層塔を除く外は全部耐火煉瓦張りを終り素人目からみれば殆ど竣工したかと見られる程であるが之と共に附屬の甲號官舎及び二ケ所の門衛所外廊煉瓦塀等も程なく竣工すべく新に工事開始を見た監獄も軈ては上棟式を見ようとする一方には間島組が今回の大工事請負の記念として寄進した間島大神宮の社殿も際立つて捗取りつゝありて來る九月十日には愈々本館廳舎の上棟式と間島大神宮の竣工及び遷座祭を擧行することゝなり町組の準備は元より市民の殿堅委員は當日の餘興として製紙の奮相撲と素人演藝會を催す可く力士の稽古が始まるかと思へば又演藝會上演者の勸誘に努むる等日を追ふて劇作を見込しての祭禮氣分が濃厚になつてゐる

全鮮釀造品評會

【大邱】全鮮釀造品評會は十月二十一日より二十六日まで六日間元山府で開催するものなるが出品手續並に釀造品の勸誘方に就て咸鏡道廳より本道に照會があつたが釀造出品は左の如し
清酒、燒酎（朝鮮燒酎を含む）藥酒、再製酒、味噌、醬油

東萊高普 盟休事件 蒸し返しの噂

【釜山】李教諭排斥が繞で十數日間に亙つて盟休を企てた東萊公立高等普通學校の盟休事件も道學務當局並に父兄側の調停によつて去月二十三日一と通り鎭靜に歸したが來る一日の新學期を迎へて復一部生徒間に登校を澁るとしない者が潜在し或はまた盟休の蒸返しとなるにあらずやと噂されてゐるが道學務當局ではすでに生徒も續々登校準備の爲め歸校して居りかゝる事實はないと言明してゐる

いよく明日 木浦商議總選擧 平穩裡に終始せん

【木浦】木浦商業會議所の評議員選擧は九月一日に迫つたが今年は定員が増加したのと呼心が少い爲め内地人側は左の諸氏の立候補で漸く定員に充つる有様であるから面白き選擧戰は見られない即ち現評議員側は
山野龍三、中野孫次郎、伊藤錫太郎、富永靖一、波多野順助、栗生作男、森酒井、内谷萬平、岡村又次郎、守田千助、松岡琢石、猿武男、村上直助、永田萬平
の諸氏で新顏では五氏合して十四名である、朝鮮人側は態度甚だ曖昧であるが倉庫會社代表の金融機は公然名乘を揚げ其他李潤淑、朴正均、沈鐘一諸氏が運動して居る様であるから四人の定數選擧で是又大きな競爭は見られまい因に有權者は内地人側二百六十名鮮人側は百十一人に確定した

け的なる豪を標榜地一方は殺に傾しく移り行く世の變を論じ過去の思ひ出話しに花を咲かせた當日の列席諸氏は次の通りである
日高丙子郎（光明會）杢茂一郎（李準行主）近藤信一（朝鮮日報）荒木時藏（京城日報）坂倉與市（一力樓主）隈部次郎外二名

間島競馬許可

かねて其筋へ競馬會開始を出願中であつた大阪豪島競馬協會吉川一行は此の程外務省より許可するとの指令が到着したので近く開催の運びに至るだらう然し會場が龍井支那側の云ふ商埠地外の市民グラウンドであるから支那側との交渉が圓滿に行くか否か疑問である（間島）

間島草分會

【間島】邦人の間島開拓が着目されて茲に二十年此の間には幾多の人事變遷もあれば云ふに云はれぬ涙の歷史もあつて當時を回顧する人々の思ひ出草ならざるはないが去る二十二日は在留二十年の歷史を持つた人々が集まつて間島草分

印象の好い 青木新知事

【群山】青木新任全北知事は既報の如く二十八日來群し就任挨拶を兼ね一般事務の視察を爲したが同知事が群山府民に對する印象は極めて好く府民は兎角に新知事と共鳴して好知事を得たりと喜んでゐる取り分け群山築港には多大の同情を寄せ二十八日觀港視察の際も有志の説明並に築港速成の要望に對し知事は『西鮮石炭産出の米の積出港として今日迄築港の設備なきは寧ろ遲きに失す』と語つたが有志は此の言葉を聞き大いに意を強うし同時に知事に對し今後築港速成につき配慮あらんことを乞ひ諒解を得たと

南鮮庭球大會

日時　今三十一日（天長節）
場所　大田鐵道コート（補助朝鮮興業コート）
會費　一人金壹圓（晝食を呈す）
ボール　本社指定角一軟球ボール
主催　京城日報社大田支局

弔慰金を贈る

警察協會平北支部では去る四日[illegible]駐在所に於て勤務中突然襲擊した七名の匪賊のため即死したる故警部補上田慶吉、巡查部長岩上榮吉、同上甲德衛門、同須山良一の四氏及び二十五日渭源郡渭松面蘇坪洞森林中で十名の匪賊と交戰中胸部に匪彈銃創を受け即死した巡查部長宋日成氏の遺族に對し金一封宛の弔慰金を贈つた（新義州）

元山より

◇二三日降り續いた雨がやむと元山はまた暑さが盛り返して海を浴る者が多くなつた、然し何と云つても避暑客である日中の日盛りには海にも這入られるが朝と晩はスッカリ秋になつた。此の氣持のよい時期にまた元山では魚釣りが始まる
◇氣の早い連中はもう竿を肩に出掛る人が尠くない釣れるのはハゼとチヌの子位で赤田川尻では此のハゼの子を釣つてゐる人が毎日二十人位は見受けられる
◇元山の釣は斯うして段々盛んになり九月の中旬から十月に亘つては大概橋附近は大公孫連で通行も出來ぬ位の盛況を呈する
◇元山にマアジヤンが流行し始めたのはまだ極めて最近の事であるが此の遊戯は段々官民間に普及せられて今ではなかなかマアジヤン黨が多くなつた鮮銀の鈴木さんを始め元街の西田さん、海水浴會社の[illegible]さんなどは最も熱心家で最近始めた人に秘書課長の坂垣さんがある其他麻雀熱心家は近く麻雀競技會を開催して全鮮麻雀界の魁をせんと計畫してゐる

地方人事

▲須藤榮氏（營林廠長）廿八日[illegible]州往復（新義州）
▲加藤本岡附道[illegible]課長　管内出張中の處二十日朝歸任（釜山）
▲原田博士　二十八日夜釜山着二十九日道廳を訪ひ即日東萊へ（釜山）
▲丸山土木部釜山出張所長　二十八日府内富平町三丁目（機業館所長跡）へ轉居（釜山）
▲李學務局長　廿八日夜來新[illegible]竣工式に臨席後安東縣鴨江[illegible]の出發に臨み谷平北道知事の招宴に臨み觀察の上三十日歸任（新義州）

地方集會

▲青木知事披露宴　【群山】青木新任全北知事は二十八日午後六時群山有志六十名を富士亭に招待し新任披露宴を張りたるがデザートコースに入るや知事の新任挨拶あり松本會頭答辭を述べ盛會裡に散會した
▲青木知事歡迎宴　【群山】群山官民有志は二十九日夜青木新任知事を花月に招待し歡迎宴を催したるが主人側代表の挨拶に對して青木知事の謝辭あり歡をつくして十時散會した

大京城の都市美と豐國セメント

大京城の都市美と豐國セメント　京城は北緯三十七度四分東經百二十六度五十九分朝鮮半島の中央部に位する十三道の首都にして文化政治の本山たる大政廳のある處、南は漢江に茫み北は漢山を負ふ景勝の地、人口三十萬を擁する大都市にして街衢整然、文化日に進み、都市計畫又緒に就き路坦として砥の如くなれ共猶ほ建築物のみ煉瓦造、木造、バラック、藁屋ありて、雜然狀態を脱せざれ共建築界の大勢は日一日木造より煉瓦に今は鐵筋コンクリートに移り、セメント化しつゝあり。
見よ第二の醫生市民を造る學園は漸次鐵筋コンクリート建築に改められ第二高等女學校、府立商業學校、漢芹洞普通學校等皆文化施設下に於ける理想的建築で文化收治である、夏涼ふして冬暖かに、即ち耐火、耐震、防寒、避暑の理想的建築にして、修繕不要の百年計畫である、又市の中央に高塔屹立夜の京城を獨占せる、旋光塔有田支店の建築の如き、關東震災の生みし理想的耐震、耐火、鐵骨鐵筋コンクリート建築で、堅牢朝鮮第一である、尚目下鋪路に建築中の横濱火災支店、郊外に於ける既竣成せる王宿橋の如き、俱に皆豐國セメントに依りて建設されたのである。就中王宿橋の橋脚は徑二尺、八角形、長さ十五尺鐵筋コンクリート杭を最新打撲式に成つて居る、如何に恐ろしき硬度さよ。

工場設備

豐國セメント工場は最新化學の精髓である今日の文明の有する限りの世界中最も新しき最も進歩せる機械と、理想的設備の三大工場を有するを以て誇りとする、此點に於て確に東洋第一工場を以て自ら任じ、其標一主義とする品質の絶對優秀は、斯界の驚異である、又大量生産と化學萬能の機械設備、工場内外の運搬系統の鐵道連絡設備に、誠に機械力の應用整々然として巧妙を極め、人役の節約は遺憾なく隨所に發揮されて實に至れり盡せりである、殊に燒熱燒成裝置の如きは東洋に於ける最も尖鋭にして當時如何に斯界を驚倒せしめたるかを、極力生産費の低下を計り常に優秀なる製品を廉價で供給し需用家各位の期待に副ふを以て自から任じて居ります。投資金壹千五百萬圓、年産額に百萬樽、工場を門司、名古屋、佐賀に有す。

製品特色

豐國セメントは品質が最も自慢のセメントであります、殊に粉末の微細、（〇、〇二大阪工業試驗所成績報告）色合の鮮かな點に於て他の追從を許しません、從つて膠伸縮度の力強く硬化的良にして鐵筋コンクリートに最適するを以て我國優秀な組セメントとして多大の賞讃を博しつゝあり、殊に其セメント色の優美なる、仕上後の莊重雄麗又格別にして天下比儔を見ず、故に『鐵筋コンクリート建築は豐國セメントに限る』との公評を博し、朝鮮に於ても現に事實を近に維持に物語る。セメントは日進の化學工業品である。製品と機械設備は共に時代に一日も長足の進歩を示し一日遲れば一日の進歩あり、故に老舗よりも品質が、一主眼とす、然り豐國セメントは新時代に於ける最進歩せる斯界の權威であり、品質に對して斯界の自信と、責任を以て新時代の品質第一セメントを社會に供給して居りますから、高級優秀セメントと御指定せられ、御に所以あるかな。

技術家並に需用家各位御門通過の際是非工場設備と製造の實況を觀て此の工場にして此のセメントある所以を御會得願ひ度御柱駕を歡迎致します。

容器包裝

製品と包裝は共に完全にして品質の變化、減量は絶對にありません　そこで豐國セメントは品が良くて價が安くて容器が完全で安心で經濟的で御用であります……から何卒多少に不拘倍々御用命を……有力なる試驗所の成績表は御一瞥次第御高覽に供します

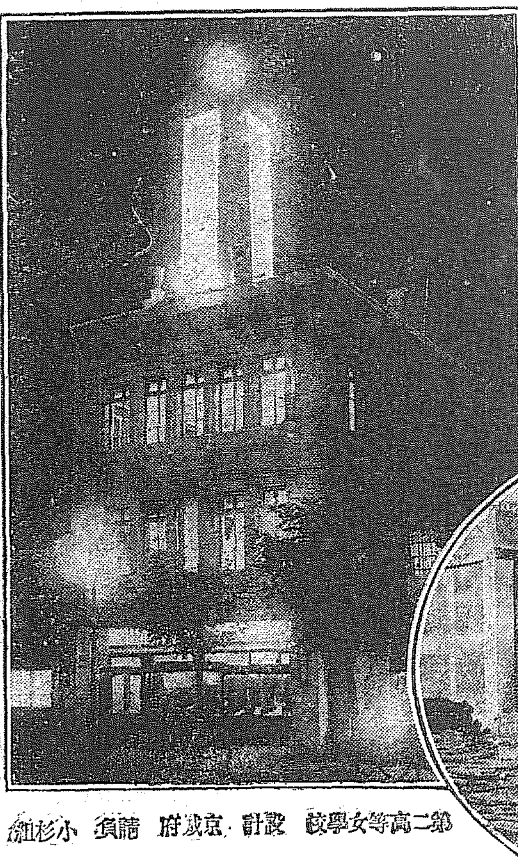
組織

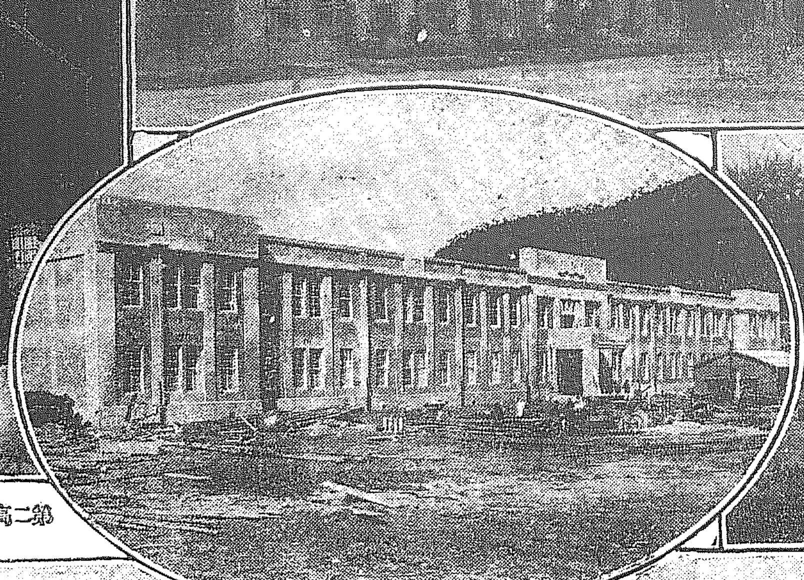
本社を東京に置き營業所を各工場所在地に出張所を大阪京城に、社長福澤桃介常務取締役花原眞平駒井初次郎專ら經營に任して居ます

豐國セメント株式會社
京城出張所
京城府南大門通五丁目
電話 長本局 六四七番

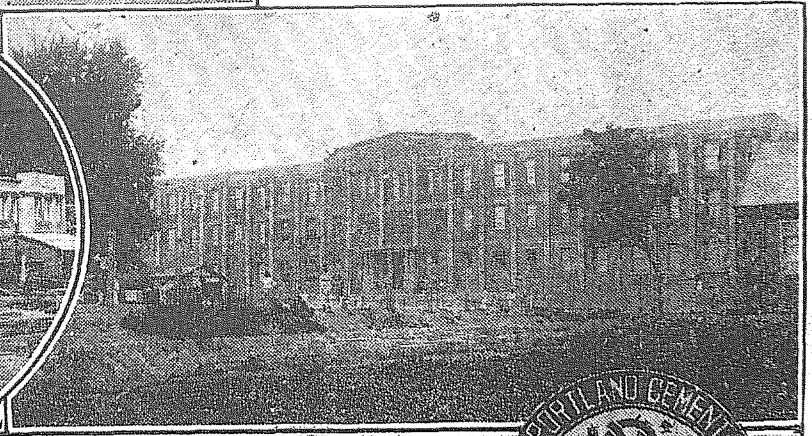
有田支店　設計請負　花園工務所

京城公立商業學校　設計京城府　請負名岬組

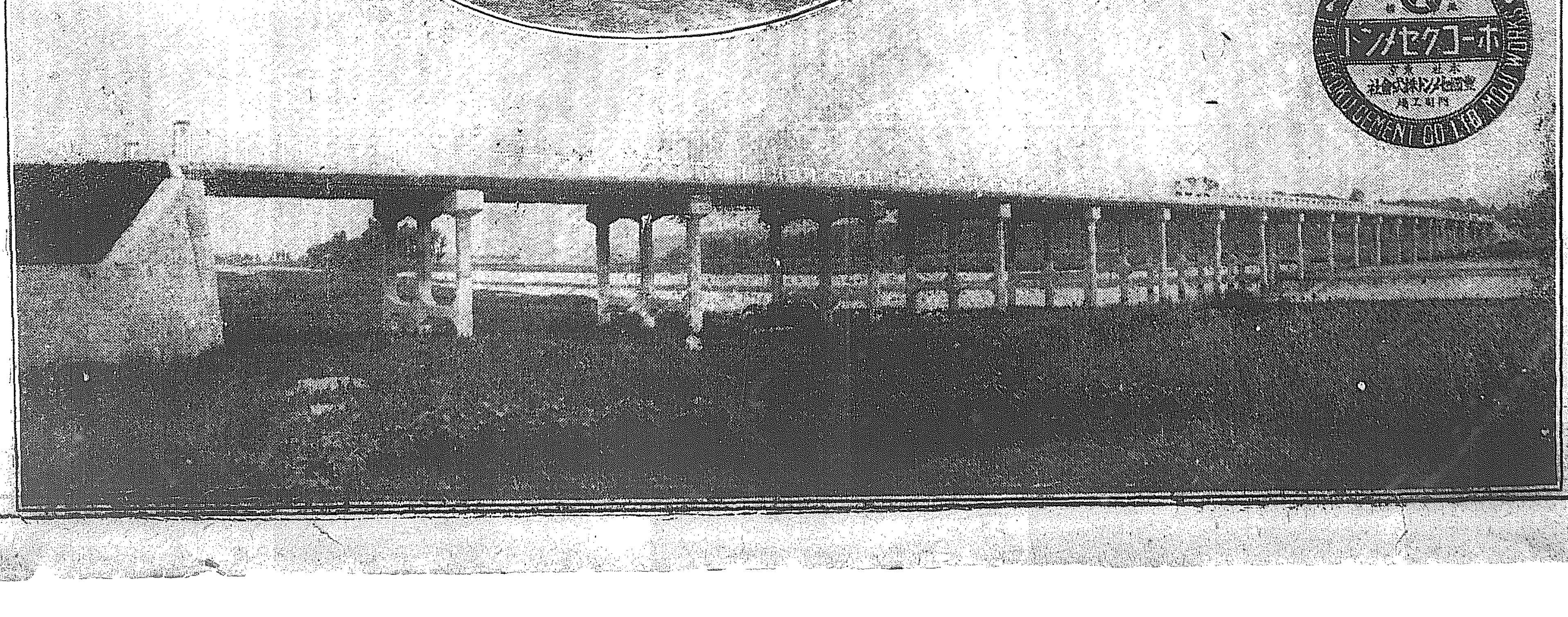




第二高等女學校　設計京城府　請負小杉組



渼洞公立普通學校設計京城府請負田中組



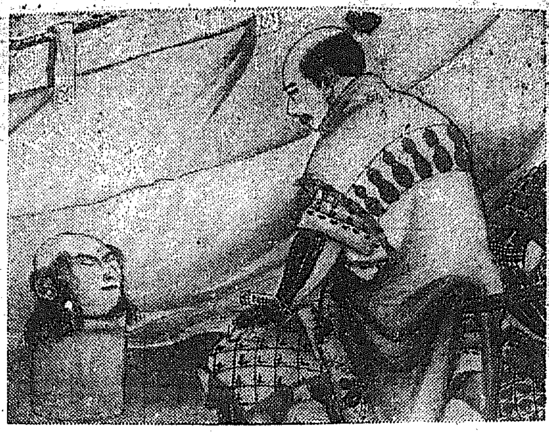
王宿橋　設計　總督府　請負　清水組

緣の淀君

【第十二回】

松林伯知演　野口紅涯畫

明智の家來は主君光秀自害いたしたと聞き、それへ馳寄つて自殺した、溝尾勝兵衞も自殺せんとしたが光秀の首を他人手に渡すは恥辱、坂本の城まで持行かんとこれを帷子の片袖に包み馬の鞍に付けて群がり寄る一揆を突き伏せ又は馬足にて蹴散らし七八町落延びたが、山々には篝火を焚いて落武者の詮議きびしき樣子、とてもこれにて坂本までこの首を持つては行けない、斯く覺悟して馬より下り山科の北の茂みの內へ光秀の首を埋めて自殺せんと四邊を見ると自分の草履取與七郎と申す者が從ひ居る。勝、オウ與七郎、まだ居つたか、與、旦那樣、情ない事になりました。勝、敗軍は兵家の常、さすれば敗軍いたせばとて恥辱では無い、然し知られる如く御主君は御自殺なされた、その首級はこの藪の內に埋め隱せしが、



と洩れば之を掘取つた者は御首を渡した時にズバリと突くぞ、佈が鑓の柄を通つた時にズバリと突いたが、コレ見ろ、この死骸の膝頭に泥が付いてゐる、これが何よりの證據だ、俺のこの衣裝にも血が付いてゐる、それにしても首は何處へ隱したか、探して見ろよ」と是から手分けをして探ねる

今度大阪支店より
水害品特別扱
罹災のお方々に限り特に割引する事に致しました何卒早くお手入をお勧め致升

と藪の中から淺黄色の帷子の片袖に包みし首が出た、これは時刻がよかつたと長兵衞喜んでこれを持ち歸め〔以下判読困難〕

時節を坂本城に屆けんものと存じをれど、今は此師共に疲れ果て一歩も進む事はならぬ、依つて此處にて自殺いたす、この一命は御主君の御恩めらたものなれば坂本へ持參いたせ、疾く〳〵此處を去れよ」と申し、光秀が辭世を書いたそれを與七郎に渡して勝兵衞は腹を切つて死んだ、與七郎は主人の死骸を離す事も能ない、そこで辭世を嚼へ溢れの水を手向けて此處を去り坂本を指して行く、揚げ內に夜が明けた、小栗栖の一揆の者は

寫眞は
旭町一河原へ

ゾロ〳〵此處へ出て來て晒されてゐる謀叛人の鎧を剝取り又は肌付きの金を取る〇見ろや〳〵、此處に首の無え死骸があるぞ、これは名ある者に違えねえ、首を持つて行くやうでは大將方に相違無え、誰だらうナ〇見ろ〳〵この死人の着てゐる帷子に桔梗の紋が付いてゐる、又此處に落ちてゐる鐙にも金で桔梗の紋が畫いてある、シテ見るとこれは明智であらうかと云ふと長兵衞、吾が待てゐ明智

止な事である」と申したが、秀吉の陣には光秀は織田の敵、故で長兵衞に御褒美として黄金五枚を與へ首級を取つた者は小栗栖の名主にした、イヤ長公大喜び、機に大小を帯し黄金五枚を懷中にいたし佈槍を小脇に搔込んで小栗栖に引返したが、初めて大小を帯した事とて腰が重い、これを引拔いて佈槍にすがり歸つて來た。秀吉方は秀吉、兵を率ゐて江州の坂本城に押寄せた、光秀の嫡子十兵衞光慶は十四歲であつたがこれは自殺いたした、又家來明智左馬助光春は坂本の城にゐたが、多年光秀が貯へた茶器又書畫の類を本國へ送つた、この中に柴肩衝の茶入は信長の秘藏お市の方が光秀存生の時に所望いたした物ゆゑこれはお市の方にお送り下さいと書面を添た、又城は隅々まで掃除いたして士分は暇間に集まり溝尾勝兵衞の伜與七郎が持參いたした光秀辭世の句を讀めたその一節を床に飾り二行に列べ別れの盃を取交して心靜に自害した、光秀の妻熙子に女子二人これも皆自害いたしました、如何にも死に際が美事でございます、その內にも最も感ずべ

きは貴重な品々を左馬助が秀吉の手に渡さぬ爲めせず、彼の秘藏の品を八坂は琵琶の湖水の畔に沈めて自殺する時に信長が愛藏いたした茶器を一つたりとて失はぬ様にと突つて贈り屆けたさうで、天下の珍器ならば後の世に遺すが宜しからう、左馬助とは惜る事か大分違ひます。

九月一日

（舊曆七月十四日）　六白　時候戌亥　火曜　戊子　友引　宿

▼六白▲遠く旅行して機會を取り外し易い、謹んで利西と北と南が吉
▼七赤▲大凶を招くので謹んで用心、謙へ
▼八白▲無難な日旅行に北と西と南が吉
▼九紫▲調子に乘過ぎると不慮を招く內に守つて利東と西と北が吉
▼一白▲勝事順調日頃の願ひこと叶ふ、臨機を示す

九月二日

（舊曆七月十五日）　五黄　暗劍無し　水曜　己丑　先負　執　軫宿

▼五黄▲心生に迷ひを生ずる內に守つて有利、散財注意長と北と西が吉
▼六白▲目上の援立を受ける日、此の儀は午後西と南と壬が吉
▼七赤▲嬉しい事が續く企業旅行等は上首尾西と北と壬が吉
▼八白▲吉凶盛大の日思ひ切りて直利を占める艮と北と西が吉
▼九紫▲九分通りまで漕付けて破れる事ある日用心東と西と北が吉
▼一白▲我儘を押通さうとすると意外な失敗を招く東と坤が吉
▼二黒▲倦まず撓まず進んで綿密は大成功に終る日艮と西と內が吉
▼三碧▲口舌を持ち込まれ易い日堅く營業を守つて利南と東と壬が吉
▼四緑▲どう恵處つても荒唐なる出所內は凶南と壬と內が吉
▼五黄▲自己の力量以上の大望企て成功難ひなき日艮と內と北が吉

將棋新手合（五）

於東京市日本橋區蠣殼町三ノ十三　將棋所

平手先　▲五段　〔判読困難〕

▲六二歩△同桂▲六五歩▲八五歩△六二歩（ヲ）△七二馬△八五飛△八六歩△七七桂△同桂▲八六飛△八七歩▲八四飛△四六桂▲七五歩△三四桂▲三一玉△四二桂（ワ）▲同金（以下次號）

讀者木七段評

▲（ヲ）六二歩は致し方なき手なり

△（ワ）四二桂なるは惡手なり此處一旦二四歩と打つべし若し一二步なれば二三歩と打つべし

胃腸 タカヂアスターゼ
專賣特許高峰讓吉博士發見・世界的强力消化素
各地有名藥舖にあり
東京室町　三共株式會社

官製 人參精
發賣元 貴生堂藥品店
京城本町二丁目 電話本局十六八番

最新刊
山田耕作著 生れ月の神秘
前川稔著 土地增價稅論
渡邊常太郎 未知の婚約者
福田正夫著 小いコゼット
池田小菊著 私の教育記錄
伊藤尚賢著 胎育論神經科
栗原古城譯 比の后の者に
內務省編 運動競技全書
中上顯吉著 無線電信電話
石川欣一著 煙草とパイプ
畑耕一著 怪異草紙
京城 大阪屋號 振替京城一五七二番 電話本局二〇八番

李王職御用
鐵道病院御用
模範全乳
太正牧場肥育場主 東亞牧場（電話二五番）

內外科（入院隨意）
岩田病院
附屬 汲度注射院
長谷川町

あんそら病
御家傳丹藥にて如何なる難病も全治す
仁川 吉木醬油場

株式內氣配

期米內氣配

雨具携帶のファンで置る

活動を

肺病患者は刮目してこの叫びを聞け!!
恐るべき病菌は年々幾萬の天才偉人を奪ひつゝあり

肺病徹底的特殊治療法の完成

肺結核（肺癆）肋膜炎、肺尖カタル、氣管支カタル、喉頭結核、腸結核、結核性腹膜炎、喘息に苦しむ人は偉効ある本療法を實行せよ

ドルーデンツベルゲン創見者　醫學士　靑山先生談

肺病に對する世人の謬見

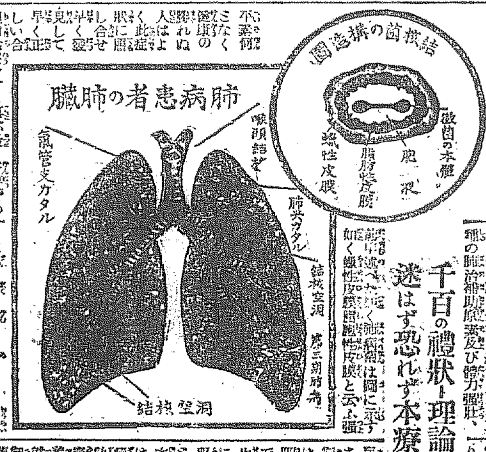
一、一般世人は肺病の二字を以て死の宣告と思つて居る、だから病人は肺病である事を隱して一般家人を診察して常人又家族を心配せしめて居るやうに肺尖カタルとか氣管支カタルとか肋膜炎とか称して、心配させるが病人に耳を貸す事を認めて、正直に肺病など診斷する醫者は少い。「私は肺病でない肺尖カタル」だ等と診斷を待つて病名を宣せられて居るが、其症狀が遂に肺病第一期の時を第二期又は第三期に進めてからの藥用の機を失ふなどと云ふ事がかくて起るものである。

[illegible]

左の症狀に思ひ當る人は一刻も油斷せず治療に着手せよ

一、何となく胃腸が弱くなり消化が不良で食慾が進まない。
二、感冒を引いた時に云ふ程でもないのに惡寒が出て時々頭がだるい。
三、頭が重く氣分が勝れぬ、身體がダルク何事にも倦みて疲れ易い。
四、寢汗が出たり、夢見たりさめたり易くイライラして眠られぬ。
五、力仕事もしないのにスグ疲れる、ダン〳〵眼の機嫌や頬の肉が落ちて顏が蒼くなり體重が減少する。
六、時候の關係でもなく、何となく頰のあたりが赤くなる。
七、大した運動もしないのに胸の動悸が烈しくなる、落ち付きがなく妙に感じ易くなる。
八、一寸した事で胸が壓迫される樣になり呼吸が苦しくなる。
九、仕事をしないのに何となしに肩が凝る。
十、初めは輕微な咳だが段々に咳嗽が多くなり次第に血痰などを出すやうになる。

右は初期一期の症狀にして全部を現し又は一部を以て初まる人もある。一期の症狀がダン〳〵激しくなる。



從來の藥はなぜ効能が無いか 病者は先づ藥劑の撰擇が肝要

[illegible]

肺病徹底的特殊治療藥の完成 實質の眞價は無限の偉力

[illegible]

千百の禮狀と理論よりも實効が肝要 迷はず恐れず本療法を實行せよ

[illegible]

總發賣元
東京市本郷區湯島町九電車通
研究所 醫學士 柴崎祿朗
大阪東區本町一丁目
研究所 醫學士 柴崎祿朗
京城支店 京城府黄金町一丁目 柴崎仁壽堂 電話本局一六六〇
肺病無料相談
附屬診療部設置
肺病早期診斷

不動產競賣公告

左ノ不動產ヲ大正十四年九月十四日午前十一時競賣ニ附ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

京城地方法院

一、京城府山手町百六十六番地
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪十四坪四合五才
最低競賣價額金二百圓
中立人 株式會社朝鮮銀行
債務者 金榮培

一、京城府三坂通二十坪
最低競賣價額金二百圓
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪八坪一合六勺
最低競賣價額金百圓
中立人 小松慎雄
債務者 崔鎔

高陽郡崇仁面祭基里百四十八番地
一、第四號木造草葺平家建本家　壹棟
此建坪八坪一合六勺
最低競賣價額金百圓

一、京城府清進洞七十番地
一、坐三十六坪
最低競賣價額金七百二十圓
右地上建設
一、木造草葺平家建本家　壹棟
此建坪七坪一合三勺
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
此建坪三坪三合
最低競賣價額金二百圓
中立人 高橋榮吉
債務者 金田健太郎

一、京城府忠信洞五十一番地
一、坐二十四坪
最低競賣價額金百二十圓
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪七坪五合七勺五才
最低競賣價額金百四十圓
中立人 金世昌
債務者 鄭榮亨

高陽郡知道面上堂里三十九番地
一、坐四百八十五坪
最低競賣價額金二百四十二圓五十錢

一、京城府長沙洞二十七番地
一、坐四十二坪
最低競賣價額金六百七十二圓
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪二十一坪六合五勺
最低競賣價額金六百五十圓
中立人 陳錫在
債務者 朴外一名

高陽郡漢芝面新堂里二百四十七番
地ノ二
一、木造草葺平家建本家　壹棟
此建坪十三坪五合
最低競賣價額金百圓
中立人 近田勝司
債務者 金勳培

[illegible]